

## 平成30年度子ども家庭支援センターの事業計画について

### 事業目標

目標：子どもたちの笑顔があふれるまち 小平

- 1.すべての子どもたちの誕生を祝福し地域の宝として、「共に育てる・共に育つ」を目指す。
- 2.子ども一人ひとりの人格と個性を尊重し、すこやかな成長と各家庭の生活を支援する。
- 3.子どもや家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向かえるよう専門性にに基づき対応する。
- 4.子どもと家庭にかかわる各関係機関と連携を密にし、必要な支援の提供・調整を行い、児童相談対応に努める。

### 方針と展開

#### 1. 子育て交流広場活動の充実

- ・地域の親子の良い出会いと交流の場として、利用者同士がお互いに支え合い、育ちあえる関係が築けるような支援を心がける。
- ・個々のニーズを捉え、きめ細かい対応を心がける。
- ・センター内のひろば活動だけでなく、地域センターなどへの出張ひろばを展開し、子育て家庭の孤立を防ぎ、“みんなで子育て”を楽しめるようにする。
- ・ママパパボランティア、保育ボランティアなどボランティア活動を定着・拡大させることで、市民活動を支援していく。
- ・父親の育児参加をすすめ、夫婦で育児の楽しさが分かち合えるよう、活動を工夫する。

#### 2. 相談活動の充実

- ・悩みや問題を抱える家族を理解し、より良い解決に向けた方法を共に考えていく。
- ・子どもの発達や親自身のケア等、専門相談員による相談を活かし、育児をサポートする。
- ・対応に苦慮する相談に関しては、対人援助の経験および知識技術の高い専門家より助言指導を受けることで、問題への理解を深め、具体的な対応や支援の方向性を共有する。
- ・保健師や助産師と連携し、周産期からの支援を積極的に行い、特別な配慮を必要とする保護者への見守り・支援の充実を図る。
- ・ファミリー・サポート・センターや子育て相談室と情報共有し、必要な支援に繋がれるよう配慮する。

#### 3. 地域との協働

- ・「発達を支援する会」「子育て支援を考える会」「ここぷらっと」ほか子育て支援に関する普及啓発。
- ・実習生や中学生の職場体験の受入れ等、若い方々のボランティア活動の場を提供し、温かい交流のある地域づくりを目指す。
- ・市内のボランティアグループと協働し、より充実した支援を行う。

#### 4. 児童虐待防止機能の充実

- ・要保護児童対策地域協議会において関係機関との日常的に「顔の見える」連携のもと、子どもの人権を守り、児童虐待防止に努める。
- ・子どもや保護者の心理的側面のケアにも努め、支援を通して子どもの生活の改善と自立を助ける。
- ・市民へ向けて「養育家庭体験発表会への参加」「オレンジリボンの普及」等、児童虐待防止の啓発活動に市担当課と共に取り組む。

- ・特に支援が必要な家庭を訪問し、家事・育児のサービスを紹介し、食事・洗濯・おむつ替えなどを手伝い、親子の生活改善に繋げていけるよう調整する。

## 5. ティーンズ相談室を通して、中高生年齢の児童への支援を行う。

- ・主に中高生年齢の児童が抱える悩みや問題を受け止め、共に担うことで孤立感を軽減し、問題解決へ向けて歩みだせるよう、学校や児童館等と連携し、児童が本来持っている力を発揮できるような機会を提供する。
- ・不登校あるいは学校等どこにも所属していない子どもたちの再学習の機会や、自分の将来に目を向けられるよう、社会的自立への支援を行う。
- ・個別対応から利用者同士の交流をすすめ、対人関係において自信を持てるように支援する。

## 事業の内容

### 1. 子育て交流ひろば「おひさま」「はらっぱ」

- ・乳幼児、保護者の安心できる居場所として、お互いの交流の促進を図れるよう配慮する。
- (1) 親子あそび：0歳さんあつまれ・ちびっこお相撲大会
- (2) 季節の行事等：クリスマス会・絵本の会・畑耕し隊（じゃがバター・豚汁）
- (3) 出張ひろば（月2～3回）
- (4) 自主サークル：まもらっこ（障害児を持つ親の会）・おひさまキッズ
- (5) ママボランティア：りらくすヨガ・エッグアート・ベビーマッサージ・あげますくださいタイム

### 2. 講座・行事

- (1) 親子ふれあいあそび
- (2) ふたごちゃんあつまれ（ふたごちゃんあるある等のお話や情報交換）
- (3) ちくちくの会（フェルト名札作り）
- (4) 子育て講座：「コミュニケーションと言葉の育ち」「2人目の赤ちゃんがやってきた」ほか
- (5) ペアレント・トレーニング講座
- (6) ひなたぼっこ（母親の子育てについてのグループワーク）
- (7) プログラム「赤ちゃんを創るわたしの家族」（2～4か月の赤ちゃんとの母親のグループワーク）
- (8) りぼんの会：身長・体重測定、助産師による相談、プレママ相談等

### 3. 相談事業

- (1) 面接相談・電話相談・メール相談・ひろば相談・出張ひろば相談
- (2) 虐待相談窓口
- (3) 専門相談（発達相談、心の育ち、言語、家族問題等）
- (4) 養育支援ヘルパー派遣事業受付相談
- (5) 子どもショートステイ事業受付相談
- (6) ティーンズ相談

### 4. 先駆型子ども家庭支援センターに係る事業・虐待防止事業

- (1) 虐待通告・児童相談の窓口として、必要に応じて情報収集し、訪問・面接・サービス提供などを適宜に行う。関係機関との協力体制をより強化し、子どもと家庭の問題に適切に対応する。
- (2) 要保護児童対策地域協議会において子育て支援課と共に各会議の準備・開催など、子ども家庭支援センターとしての役割を果たす。

(3) 子育て支援課との連携のもと、必要に応じて個別ケース検討会議を開催し、関係機関との情報共有・支援方針・を決定し虐待の重症化を防ぎ、家族の状況改善に向けて支援する。

(4) 要保護児童庁内連絡会を開催する（子育て支援課・健康推進課・保育課等）

## 5. 情報提供

(1) センター便り「おひさま」を毎月発行

(2) ホームページでの情報発信、メールでの問い合わせ

(3) 地域子育て情報のチラシ・お便り等の配布、ポスター掲示

## 6. ネットワーク強化

(1) 要保護児童対策地域協議会、代表者会議、実務者部会及び個別ケース検討会議の活用

(2) 関係機関との連携

市関係課、児童相談所、児童養護施設、教育相談室、小中学校、特別支援学校、児童館、学童クラブ、保育園、幼稚園、社会福祉協議会、保健所、民生委員児童委員、療育施設、医療機関、警察署、医師会、歯科医師会、地域センター等

地区連絡協議会、発達を支援する会、特別支援学校運営協議会、特別支援教育連絡会実務者部会、他市区子ども家庭支援センター、東京都市子ども家庭支援センター長連絡会、元気村連絡会等

(3) ファミリー・サポート・センターとの連携及び講師派遣

(4) 子育て・女性相談室（子育て相談室）との連携・相談

(5) 関係機関との連絡会、学習会、事例検討会等参加（学校運営協議会、発達を支援する会参加等）

(6) 各種研修の開催（養育支援ヘルパー派遣事業研修、市相談員への研修「子育て支援を考える会」、「ここぶらっと」ほか）

## 7. 地域組織化活動

(1) 職場体験中学生・高校生等の受入

(2) ボランティアの育成及び活動の場提供とフォロー

(3) 子育て支援を考える会（社協との共催）

(4) ママサークルの支援、近隣地域との協力

## 8. 子育て支援にかかるサービスの提供窓口、連絡調整

(1) 子どもショートステイ事業

(2) 養育支援ヘルパー派遣事業

## 9. モニタリングの実施

(1) 利用者アンケートの実施、掲示と改善点の協議

### 職員・研修体制

#### 1. 本指定管理業務を行う職員体制

別表 平成30年度 小平市子ども家庭支援センター職員体制

#### 2. 職員能力・資質の向上のための取組み

(1) 法人内研修

① コミュニケーションスキル研修

③ パート研修

② 社会問題研修

④ ひろば研修

(2) 外部研修

① 児童相談センター主催研修

④ 母子保健研修

② 多摩総合精神保健福祉センター主催研修

③ 小児総合医療センター主催研修

(3) センター内研修

① 事例検討

⑤ 多摩小平保健所主催研修

② 思春期相談研修

別表

	職 名	勤務形態
1	センター長	常勤
2	子ども家庭支援ワーカー	常勤
3	子ども家庭支援ワーカー	常勤
4	子ども家庭支援ワーカー	非常勤
5	地域活動ワーカー	常勤
6	子育て交流広場担当	非常勤
7	専門相談員	非常勤
8	専門相談員	非常勤
9	虐待対策ワーカー・リーダー	常勤
10	虐待対策ワーカー	常勤
11	虐待対策ワーカー	常勤
12	虐待対策ワーカー	常勤
14	虐待対策コーディネーター	常勤
15	ティーンズ支援ワーカー	常勤
16	ティーンズ支援ワーカー	常勤
17	ティーンズ支援ワーカー	非常勤
18	スーパーバイザー	非常勤
19	スーパーバイザー	非常勤